

# KAREN BRUNON カレン・ブリュノン

(Vocal, Violin)

# PROFILE



## ヴォーカルとヴァイオリンのパフォーマンス、清楚な歌声と美しいビジュアル

フランス東南部ピュイ・アン・ヴレ生まれ。

5歳の時、母親を説き伏せてヴァイオリンを手に入れ、11歳で入学したリヨンのコンセルヴァトワール（音楽学校）では一等賞（プルミエ・プリ）を獲得し、15歳でパリのコンセルヴァトワールに進学しプルミエ・ヴィオロン（ファースト・バイオリン）となり、1年目で一等賞を獲得。

その後、19歳でコンセルヴァトワールを離れ、クラシックからより広い音楽の世界に身を投じていきます。

1996年にミシェル・ルグランの公演に抜擢されたことが転機となり、シャルル・アズナヴール、ローラン・ヴールズィ、ヴァネッサ・パラディ等フランスを代表するアーティストとの共演、またビーチ・ボーイズのブライアン・ウィルソン、イギリスのロックグループ、ブラーのリーダーであるデーモン・アルバーンとの共演を行います。フランスで大ブレイクしているバンジャマン・ビオレとカレンヌは昔馴染みであり、ヴァイオリンだけでなく、コーラスワークでも多くの作品に参加しています。その後、フランスで絶大な人気のシンガー・ソングライターのカロジェロのバンド“Circus”（シルキウス）に参加、ヴァイオリンと歌も担当し、そのカロジェロが導師となって、カレンヌのシンガー&ヴァイオリニストとしてのソロ・アーティスト活動が始まります。

2015年12月、『関ジャニ∞のTheモーツァルト音楽王決定戦』（テレビ朝日系）の最強ヴァイオリン王決定戦に招待され好評を得ました。

フランスの大人気バラエティTV番組「歌詞を忘れないで！」でレギュラー出演中。

2017年4月、バンジャマン・ビオレプロデュースによるアルバム『私が奏でる愛の旋律』でCD日本デビュー（リスペクトレコード）。

シンガーで俳優のマルク・ラヴォワヌのヨーロッパツアー2018のオープニングアクトシンガーとして出演